

東日本大震災の学校現場の知見を南海
トラフ巨大地震等の備えに生かす!
宮城教育大学が初めて本格実施した
現職教員・教育関係者の視察研修



311 いのちを守る 被災地視察研修 パンフレット



国立大学法人宮城教育大学防災教育研修機構
311いのちを守る教育研修機構

ツアーコンテンツ
タイムスケジュール

「あの日」の東北を知り、 「いま」に活かすための旅

気仙沼市

東日本大震災遺構・伝承館 (気仙沼向洋高校旧校舎等)



津波により4階まで津波に襲われた校舎の遺構を伝承館館長の案内で視察。

校舎内は、津波で流れ込んだ被災物が震災直後の姿を留めたまま保存されている。伝承館では、震災当日のフィルム映像や、写真パネルから震災の脅威を実感することが出来る。

岩手県
釜石市

うのすまい 鵜住居地区・いのちをつなぐ未来館



釜石東中学校と鵜住居小学校の生徒約600人全員が無事に避難した経路を、当時の副校长と生徒の案内で視察。

一方で、避難した住民160人以上が犠牲になった旧防災センター跡地の「未来館」と慰霊碑を視察。

気仙沼市

杉ノ下慰靈碑



市の指定避難所に逃げ込んだ住民ら93人が犠牲になった現場を、語り部の案内で視察。

南三陸町

旧戸倉小学校避難先



児童約90人が高台へ避難し、難を逃れた現場を当時の学校関係者の案内で視察。

観察日程の一例

1日目

12:30

14:30

17:00

18:30

仙台駅
出発

気仙沼市
東日本大震災
遺構・伝承館・
杉ノ下慰靈碑
視察

岩手県大槌町
(宿泊)

2日目

9:10

11:30

12:30

15:30

18:30

岩手県釜石市
鵜住居地区・
いのちをつなぐ
未来館 視察

岩手県
陸前高田市
視察

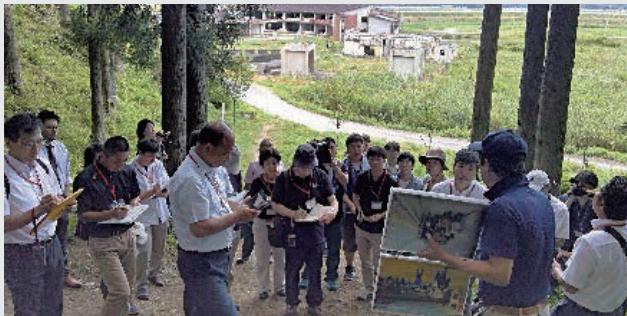
南三陸町
旧戸倉小学校避難先
視察

南三陸町(宿泊)



石巻市

大川小学校旧校舎



児童74人、教職員10人が犠牲になった学校跡地を、語り部の案内で視察。

東松島市

のびる 旧野蒜小学校



避難場所に指定されていたが、津波による犠牲者がいた野蒜小跡地を視察。

また、避難先になった学校の実情について、石巻西高校の元関係者と意見交換。

仙台市

宮城教育大学



石巻市で、被災した児童生徒の支援活動を行っているNPOの代表による講話を聴き、議論。

仙台市

荒浜小学校遺構



児童や教職員、地域住民ら320人が避難し、2階まで津波が押し寄せた荒浜小学校。被災した校舎のありのままの姿と被災直後の写真展等により、津波の威力や脅威を実感。

3日目

9:00 11:30 14:30 17:30 18:30
石巻市
大川小学校
旧校舎
視察

東松島市
旧野蒜小学校
視察

仙台市（宿泊）

4日目

8:30 11:30 12:30 14:30 15:00
宮城教育大学
・被災児童生徒支援NPO
の講話と意見交換
・視察総括

仙台市
荒浜小学校
遺構
視察

仙台空港
解散

参加者レポート



私は、自分や家族、生徒の「命を守る」ために、何をしてきたのか。何ができるのか。何をしなければならないのか。自分事として考えることができているか。子どもたちに考えさせることができていたのか。「命を守る」ことについて、深く考えさせられた4日間であった。どこか遠い他人事のように感じていた部分が、実際に被災地の現状を見ることや被災地で被災の方の話を聞くことによって、よりリアルで臨場感のあるものとなった。近い将来、南海トラフ地震が起こっても、命が助かり、苦難を乗り越えていけるような子どもたちを育てていかなければならないと思った。

この4日間の研修を終えて、自分にできること、やらなくてはならないことを改めて考えた。まずは、教員を育てる事。そして、子どもを育てる事だと思う。教育の力は今だけではなく、これからの中未来を作っていくものだと思う。だからこそ、人を育てていかなければならぬ。自分で考え行動できる人を育てる。そんな子どもを育てることができる教員を育てなければならぬ。教員の意識が変われば、「命を守る」という当たり前のことが当たり前に、そして最優先される教育の風土が創られるようになると思う。

県教委指導主事

言葉にできない、心揺さぶられる時間を過ごしました。今回の訪問先は全て一度訪れた場所でしたが、自分の年齢や経験、立場が変わる中、改めてそれぞれの場所を訪れ、震災を経験された本物の皆さんにお話を聴けたことで、教師としてだけでなく、「人」としてもう一度初心に返り、目の前の子どもたちに本気で教育活動に関わっていこうと覚悟を決めるきっかけをいただきました。

何より考えたことは「語り継ぐ」ということの本当の意味です。語るというのは実際に経験した人にしかできないことです、継ぐというのはそれを聞いた人が伝えることなので、聞いた人なら誰にでもできることです。今回震災の辛い経験を乗り越え、私たちに本音で心からの想いを伝えてくださった語り部の皆さんに対して、その想いを継ぐためにも、まずやらないといけないことは「自分を見直すこと」と気づかされました。

伝えることももちろん大切ですが、今回の研修をきっかけに自分を見直し、自分に矢印を向け、日々命を輝かせることこそが、亡くなられた方への供養や、語ってくれた人たちに対する恩返しにつながると信じています。

そして現地の人の想いを心から受けとめ、目の前にいる大切な人や子どもたちに恩送りをしていけるようにしたいです。今後の自分の人生にとっても大変貴重な研修でした。参加させていただき、心から感謝致しております。

中学校教諭

生徒、保護者、地域の方々を対象に、その教訓や復興の様子と課題、伝承の取組を紹介しました。
参加した保護者からは、「防災の大切さをあらためて考えさせられました。もう一度家族で話し合いたいと思います。」「学生の子達があの時すごく頑張ったんだと思いました。」「感動して涙が出てしまいました。」といった感想をいただきました。

中学校校長

◆授業に活かしたケース◆

①研修で得たことを踏まえ、「住民の安全を守るために地方自治体の取り組むべきこと」を題材として「地方自治」の授業を行いました。

②道徳の授業として、地球温暖化対策について話し合い、一人一人が、「22世紀に生きる私のSDGs宣言」を掲示しました。

同じ地域の先生方と行っている定期的な研修会において、防災ツアーパーに参加した経験を活かして行う防災研修の実施を提案したところ、実際に行われることとなり、講師として研修で得た経験を伝えました。

中学校教頭

防災マニュアルや防災訓練の内容を再検討するとともに、台風接近前に防災便りを発行し、ローリングストックに関する情報提供を行いました。

高等学校教諭

防災教育拠点校の担当者が、視察先としてこの研修に参加できるように、予算の増額と視察先候補としての提案を行いました。

教育委員会担当者

研修に参加すると、こんな変化が起こります！

経験者の方

(災害ボランティア、防災研修やイベント参加、資格取得など)



資格を取って防災の知識は得たけど、なかなか活用できていないなあ。



被災地視察研修
に参加すると…



実際に現地を見て話を聞いたら、色々な気づきがあったぞ！



研修で実際に聞いた話と、以前取得した防災資格の知識を活かして、学校の防災計画を見直すための提案ができました。



研修を通じて、地域とのつながりが必要だと感じました。保護者や地域の方々ともっと連携しながら、学校と地域が一緒になって防災教育に取り組んでいきます！

現在、インターネット上では、全国各地の防災教育に関する様々な情報を閲覧することができます。例えば、防災に関する研修やイベントが各地で実施されており、大学でも、サイエンスカフェや公開講座といった名称で実施されています。また、行政が防災教育の情報を集約しているサイトもあります。それらの各種情報は、下記の「HPの紹介」にあるQRコードからご覧いただけます。

また、防災に関する資格も様々あり、例えば、日本防災士機構が認定している「防災士※1」は、教育現場でも取り入れる動きが出てきています。

※1 資格の詳細については、「認定特定非営利活動法人 日本防災士機構」のホームページ(<https://bousaisi.jp/>)をご覧下さい。

HPの紹介

伝承を通じた防災教育実践ポータル
「災害メモリアルに学び、描く未来」



drri.miyakyo-u.ac.jp/memories/



初参加の方



防災に興味はあるんだけど、はじめの一歩がなかなか踏み出せないんです。

学校の防災担当になったけど、災害時に対応できるか不安だなあ…



被災地視察研修
に参加すると…



スタッフの方が優しくサポートしてくれたので、安心して参加ができました！勇気を出して行ってみてよかったです！



同じ悩みを抱えた先生方と一緒に過ごしたおかげで、良い仲間ができました！何だか頑張れそうな気がします！

もっと防災のことを知りたいので、研修やイベントに参加してみようと思います！



色々な学校のケースを参考にしながら、自分の学校にあった防災の取組を考えます！



宮城教育大学が実施する
防災教育のための各種講座とリンク集

公開講座



教員免許状更新講習

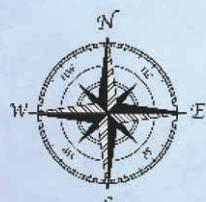


防災教育に関する各種リンク集



独立行政法人 教職員支援機構 宮城教育大学地域センター
「震災遺構から学ぶリーダーシップ研修」

エリアマップ[®]



国立大学法人宮城教育大学防災教育研修機構
311いのちを守る教育研修機構

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地

[TEL] 022-214-3296

[E-mail] 311drr-life@adm2.miyakyo-u.ac.jp

[Web] <http://drr.miyakyo-u.ac.jp/>

